

徳とく迎かう山さん正しやう法はふ寺じは男をとこ山こやまの南し志みづ水みづにあり、浄じやう土ど宗しゆにして、洛らく東とう百ひやく万まん遍べんに属ぞくす。本ほん尊そん阿あ弥み陀だ仏ぶつは恵ゑ心しんの作しやくなり。当たう寺じは
はじめ円ゑん誓せい上じやう人にんの草そう創じやうにして、天てん台たい宗しゆなり。中ちゆう興きやう聖せい誓せい上じやう人にん浄じやう土ど宗しゆと改かひむ。後ご奈な良ら院ゐん御ご宇う天てん文ぶん十じゅう六りく年ねんに、当たう山さんの第だい十じゅう一いち世せい
伝でん誓せい上じやう人にん参さん内ないして説せつ法ぽうす、叡ゑい慮りょにかなひ宸しん筆ひつの額がくを賜たまふ。〔徳とく迎かう山さんとあり、唐たう門もんの額がく〕其その上じやう勅しやく願げん寺じとなる。〔尾び州しゆう大だい納なつ言げん〕
源げん義ぎ直ちやく卿けいの御ご母ぼ公こう相さう応おう院ゐん殿てんの御ご菩ぼ提だい所じよなり〕